



安全・安心をお届けします。

令和8年3月10日

## グリーンプロジェクト情報 第2号

きらきら Eye ランド

J A 庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合  
協力：酒田農業技術普及課

### 育苗日数は適正(25日程度)に！ 健苗づくりのため作業計画はしっかりと！

令和8年産米の春作業が始まります。気象変動に負けない稲づくりの第一歩は健苗育成です。育苗期間が長くなりすぎないように、田植えから逆算し、2.2～2.3葉の適期葉齢で移植できるよう作業計画を立てましょう。また、手順や使用する機器・容器を事前にしっかりと確認し、各作業工程の温度管理等、重要なポイントを押さえて健苗づくりに努めましょう。

※イテバンは資材の消毒剤のため、種子には使用しないでください！

#### 技、其の一 田植え時期から逆算し作業計画を立てましょう！

◎春作業の目安 ※下表を参考に、移植適期葉齢(2.2～2.3葉)を目安に行いましょう。

月日	3月 29～	3月 31～	4月 13～	4月 16～20	【0.8葉を目安に早めに除去】 4月 23～27	5月 8～15
作業	種子消毒	浸種	催芽	播種	マルチ除去 緑化期 硬化期 温度管理・水管理	田植え

#### 技、其の二 種子消毒は確実にいきましょう！

薬剤消毒法	使用薬剤	濃度	処理法
低濃度長時間 処理法	(推奨) テクリド C707Aブル ※苗立枯細菌病にも有効	200倍 (50mL/10L)	24時間種子浸漬、引き 続き水道水で浸種。

#### 注意事項

- ①種子消毒時の水温は、10℃以上15℃未満であることを確認する。
- ②浸漬処理の場合、希釈した薬液は乾燥籾重の2倍以上の容量を準備する。  
(乾籾10kgの場合、20L以上の薬液が必要。)
- ③浸漬する場合は、催芽袋をよく揺すり中までしっかり薬液に浸かるようにする。
- ④使用後の廃液は、周辺環境に影響を及ぼさないよう適切に処理する。  
※ばか苗対策の詳細については、GP情報第1号(2月10日発行)をご参照ください。

#### 技、其の三 浸種初日の水温と積算温度が重要！！

品種名	積算温度(目安)	浸種日数(目安)
はえぬき・ひとめぼれ・つや姫 雪若丸・ふくひびき	120℃	水温10℃で 12日間

- ①浸種は水温10℃以上15℃未満を確保できるように3/31頃から開始しましょう。  
※特に浸種初日の温度確保は重要です。(発芽率低下防止のため)  
お湯を加えるなどし、必ず水温10℃以上を確保しましょう。
- ②容器内には、必ず温度計を設置する。適水温で浸種し、確実に積算温度を確保する。  
※高水温(15℃以上)は「ばか苗病」の発生リスクを高めます。
- ③浸種時の水量は、種子量に対し4倍以上。(種籾10kgあたり水道水40L以上)
- ④薬剤消毒種子の場合、薬剤効果安定の為、**浸け始めから3日間は水を替えない。**  
その後は、2～3日おきに水の交換を行う。
- ⑤温湯消毒種子と薬剤消毒種子がある場合は、必ず別の容器で区別する。
- ⑥**水交換の時には、種籾の位置・上下交換も行う。(発芽不揃い防止)**  
※浸種時に活水(酸素供給剤)の使用を推奨します。浸種時に活水(100倍液)を使用すると発芽揃いが良くなります。使用時期は浸種始めから4日目以降が目安です。  
(発芽阻害物質溶出後に使用すると効果が高いため)  
また、催芽時にも活水(100倍液)を使用すると効果的です。

#### 技、其の四 催芽状態の確認は袋の中まで！

☆上手な催芽は健苗づくりの基本☆

- ①催芽温度は30～32℃とし、催芽の程度はハト胸状態とする。
- ②品種や浸種状況によって、催芽完了までに要する時間が異なるので随時、袋の中まで出芽状態を確認し、“90%以上の芽切れで仕上げる”ようにする。
- ③ハトムネ催芽機を使用の場合も、機械を過信せず温度計を設置し適宜温度を確認する。

#### 技、其の五 育苗培土・育苗マットの使用は適切に！

- ①育苗培土を使用する場合  
透水性・通気性が高すぎる場合は、下表の資材を混合するなどして保水性・保肥力を改善する。また、くん炭を使用する場合、生焼けくん炭を使用するとばか苗病が発生しやすくなるので、完全に炭化したものを使用する。(自家製くん炭は推奨しません)  
**混合後は必ずpHを測定し使用する。** pHの測定は最寄りの営農課にご依頼下さい。

#### 【推奨資材】

資材名	規格	pH(目安)	参考価格(税込)
輸入ピートモス	107L	4.5	5,214円
V床土(水稲用)	12kg	5.0	2,904円

(裏面に続く)

## ②育苗マットを使用する場合

1. マットには裏表があるので、育苗箱に入れる時は必ず確認する。
2. 播種時（前）はマットにたっぷり灌水する。（箱当たり約2Lが目安）  
※「水不足」や「水分蒸発」による高温障害に注意して下さい。
3. 覆土（覆土用・肥料入等）は、粗い粒状のもので、1.2～1.4 kg程度（覆土をかけすぎない）を目安に使用し、出芽不良を防止する。
4. 過湿・低温にならないように育苗期間中の灌水は控えめにする。  
（育苗箱を傾けて水が浸み出るときには、灌水しない）
5. カビ対策として、播種後14日以内にダコレート水和剤 500 倍液を箱当たり 500mL 灌注する。（特別栽培米には使用出来ません）

## ③水田の土を使用する場合

表土を削り、作土層を床土として使用する。（深すぎて、耕盤まで掘り取らないように要注意）過度に乾燥させてしまうと、砕土で土が粉状になり、酸素欠乏など障害を引き起こすことがあるので、乾燥程度には十分留意する。また、使用前にpH（4.8～5.2）を必ず確認する。

## 技、其の六 肥料・農薬混和は播種7日前を目安に！

### ① 育苗基肥（1箱床土量 約3.3kg）

施肥例①	サイコー11号 : 現物 12g/箱	追肥は2回程度必要
施肥例②	サイコー11号 : 現物 8g/箱 エコロング 413M100 : 現物 50g/箱	追肥は不要
施肥例③	稚苗用ロング313 : 現物 60g/箱 (育苗一発稚苗用6kg)	追肥は不要
施肥例④	こめパワーマットまたはエースマット (育苗専用マット)※肥料塗布済み	追肥は2回程度必要

### ② 床土消毒（苗立枯病の予防・ムレ苗予防）

床土に水田の土を使用する場合は、上記の肥料を混合し以下の薬剤を同時混和する。  
タチガレン粉剤（4～8g/箱）またはタチガレエースM粉剤（6～8g/箱）  
◆注意事項◆特別栽培米は、決められた薬剤しか使用できないため、必ず確認してから使用して下さい。※不明な場合は営農指導員へご相談ください。

## 技、其の七 適正な播種量で太茎な苗作り！

☆播種量の基準

	移植葉齢	育苗日数	乾籾重	催芽籾重	催芽籾量
稚苗	2.2～2.3	22～25	150～170g	180～200g	1.6～1.8合

「雪若丸」は千粒重が大きいので、他品種より播種量を1割程度多くしましょう。事前に播種量を確認してから播種作業を行ってください。（極端な薄播きは控えましょう。）

## 技、其の八 播種作業に向けた準備

- ① 昨年「ばか苗病」が発生した場合は、マルチや有孔ポリは再利用せず新調する。
- ② 育苗施設周辺では「生わら」「籾殻」は使用しない。
- ③ ハウス内・トンネルの置床は、できるだけ均平に整地する。排水が悪い場合は周辺に排水溝を掘る。  
（均平化・排水の補助として箱の下に薄い板、塩ビパイプ等を敷くことも有効です。）
- ④ シルバー被覆（ふあふあ SL-60）などの遮光率が低い被覆資材を使用する場合、ベタ張りマルチを有孔ポリに変更することにより、高温障害のリスクを軽減できます。  
（注：無孔ポリを使用した場合より、乾きやすくなります。）

## 特別栽培米に取り組む皆様へ

早い地区で温湯消毒作業が始まりました。その後の作業・管理について下記の注意事項を厳守して下さい。（ばか苗病等の発生予防対策としても重要な事項です）

- ① 温湯消毒をした種子と、テクリードCフロアブル等による薬剤消毒をした種子とは、完全に区別し、別々の容器で浸種して下さい。（催芽も同様に対応して下さい）
- ② 温湯消毒後の種子は引き取り後、直ちに浸種して下さい。すぐに浸種できない場合は再感染防止のため、冷却後脱水し通風乾燥で籾水分15%まで低下させましょう。その後、風通しのよい冷暗所で保管して下さい。
- ③ 育苗箱に明確な目印などをつけて、区別して播種作業を行って下さい。
- ④ 指定された肥料・農薬以外は使用しないよう注意して下さい。

### 酒田農業技術普及課 公式 LINE 酒田飽海米づくり情報

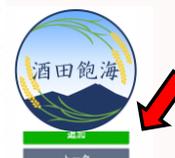
登録人数  
拡大中！  
現在460人

リアルタイムに発信します！

- ・『米づくり情報』等の栽培技術情報
- ・生育ステージ毎の栽培管理
- ・刈取時期の登熟状況（刈取目安） など



QRコード読込



追加をクリック

友達登録  
お願いします！

安定生産に向けた強い味方！

### 「やまがた米づくりナビ」

スマートつや姫から  
愛称が変更になりました

- 適期作業カレンダー
- 穂肥診断マップ
- 刈取適期マップ
- 食味収量点検マップ

適期作業の参考になる  
機能が充実しています！



アクセスはこちら

問合せ  
最寄りのJA又は  
酒田農業技術普及課まで

異品種の混入・混植(コンタミ)を防ぐために、浸種袋・育苗箱・置き床には、誰が見てもわかるよう品種ごとに目印をつけましょう！

★ 次号の発行は4月10日です！